



## ごあいさつ

皆さま方には、平素より当金庫に対して格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

金庫の業務内容、業況等について一層のご理解を深めていただきたく、本冊子を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和元年度の国内経済は、世界経済の減速や米中貿易摩擦の影響を受けて輸出が低迷するとともに、民間需要部門においても10月の消費増税の影響もあり個人消費の伸びが力強さを欠くものとなりました。公共投資などの公的需要が日本経済を下支えする展開となりましたが、年明け後は新型コロナウイルスの世界的な拡大に伴う経済の混乱が日本経済への強い下押し圧力となりました。

このような経済情勢の中、当金庫は中小企業専門金融機関として、中小企業への安定的な資金提供や、お取引先企業に対する各種経営支援といった使命を果たすべく、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでまいりました。

令和元年度の当金庫の業績は、預金積金残高が前期比8.6%増の1兆3,699億円、貸出金残高が前期比11.6%増の6,052億円と順調に増加いたしました。一方、貸倒引当金繰入額や有価証券・固定資産関連の損失の増加などの影響により当期純利益は、前期比9.3%減の87億円となりましたが、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は10.34%と引き続き高い経営の健全性を維持しております。

また、お客様の利便性向上のための取り組みとして令和元年度には新店舗「八尾支店」を開設させて頂くことができました。これもひとえに、皆さまからのご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

当金庫は、これからも地域の皆さまのお役に立てる金融機関を目指してまいりますので、皆さまには尚一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

理事長 中村 龍男

## 当金庫の考え方

地域金融機関たる信用金庫の本業は、金融という経済の血液とも言える事業を通じて、地域の経済発展、生活・文化レベルの向上に寄与することと考えています。その為には、まず自らの経営体質を強化し、安定した経営基盤を築く努力が必要です。そして、地域の住民の皆様や事業者の方に対し、新たな預金・融資商品の提供等、種々の金融サービスや地域貢献活動により、地元への還元を図ります。

私たちは、信用金庫の特性を生かし、当金庫経営理念に基づく経営を目指しています。

## 経営理念

- ①自己責任の原則の下に、バランスのとれた夢のある堅実経営を実践する。
- ②地域金融の使命を自覚し、地域社会の繁栄に貢献する。
- ③明るく、自由闊達な金庫風土を醸成し、高い倫理観と責任感をもった職員を養成する。